

(公財) 新潟県都市緑花センター 久原

アオコの対策について

佐潟下潟において、近年、アオコの発生が顕著である。アオコの発生は多くの水生植物の発芽や成長を抑制し、水環境における多様性を減少させる原因となる。

アオコ対策としては、①水質改善、②水の循環、③水生植物の導入、④エアレーションなどが挙げられるが、原因を追究したうえで、費用対効果を考え、何が可能か、何から取り組むべきかを専門家を交え、検討する必要があると思われる。

下記に、アオコ対策について原因や対策方法などを挙げる。

- ① 水質改善：水質悪化の原因の追求
 - a. 湧き水について：周囲から流入する湧き水の水質を調査し、どの程度水質に問題があるのか、どこから出る湧き水が大きな影響を与えているのかなどを調査する。
 - b. 底泥について：底泥が水質に与える影響について、その量が問題なのか、質が問題なのか等についても調査する。
 - c. 停滞水について：水が入れ替わらないことが問題なのかどうか、調査する。
- ② 水の循環：流水にはアオコは生育できないとされる。水の循環の改善を検討する。
 - a. 湧き水について：湧き水が出る場所の流路がふさがり始めているのを改善すべきかどうか検討する。
 - b. 水門について：水門の上げ下げをどの時期にどの程度行うべきかどうか、現在の水門で問題ないかなどを検討する。
- ③ 水生植物等の導入：ハスやヒシなど、水生植物の減少が顕著である。水質には短期的には影響を与えないとしても、生態系の回復により結果的には水質の改善にもつながると考えられる。
 - a. 導入する植物について：ハスの再生を試みているが、現在の水質では難しい。空心菜などの導入も検討すべきかどうか。
- ④ エアレーションの実施について：エアレーションを行うことで水温の正常化と微生物の環境改善につながり、アオコ発生を抑えられる例が知られている。この方法についても検討する。

思い浮かぶのは上記のような対策であるが、現在の佐潟でアオコの発生がなぜ起きているのか、効果的な対策はどのようなものなのかについては、専門家を交え、検討していければと考える。